

専攻教室の紹介

専攻教室は、本校での集大成である「卒業論文」を作成する場であり、生涯の恩師や友人と出会う場でもあります。また、専攻実習等の共同作業を通じてチームワークの大切さやありがたさも実感できます。本校には、全国の農業大学校の中で最も多い11の専攻教室があります。

作物専攻教室



作物専攻教室では、様々な農業機械を活用しながら、水稻、ムギ、ソバ等の穀物やサツマイモ、ジャガイモ等のイモ類、ダイズやラッカセイ等のマメ類を栽培しています。酷暑や厳寒期の作業は大変ですが、専攻生全員で作業し、収穫の喜びを分かち合うことができます。

専攻生は、自分が興味を持った作物に対して、収量向上や品質改善、省力・低コスト化等農業現場でのニーズをとらえて課題を設定し、卒業論文の研究に取り組みます。

施設野菜専攻教室

施設野菜専攻教室では、イチゴ、トマト、パプリカ、キュウリ、メロン、スイカ等の果菜類を中心に栽培しています。土耕栽培を基本に、令和4年に新設した環境制御ハウスでの養液栽培、その他、高設・隔離床栽培等を行っています。

専攻生は、自分の責任で育苗から収穫まで日々栽培管理し、施設野菜の実践的な栽培と卒業論文の調査研究を通しながら、栽培技術を身に付けるとともに、収穫する喜びと食べる喜びも体験できます。

夏のハウス内作業環境は、暑く厳しいですが、努力の結果、収穫された農産物を手にすると、今までに経験したことのないような喜びを味わえます。

